

外部講師に学ぶ ～情報モラル・主権者・交通安全～

5月に入り、外部講師をお招きして、様々な研修会・講習会を開催しました。

15日(水)に、各学年対象に「情報モラル講習会」、22日(水)には、午前中2,3年生対象の主権者教育研修会、午後には全校対象の「交通安全教室」を実施しました。

情報モラル講習会

岩手県総合教育センターの佐々木昭子先生を講師としてお招きし、学年ごとに実施しました。

インターネットは便利ですが、使用法を間違えると大きな損害を被ったり、与えてしまったりすること、顔を合わせないで行うコミュニケーションであるが故の難しさ、落とし穴があることなど、実際にタブレットを使用しながら学びました。

また、事前にアンケート調査を実施、分析をしていただき、そのデータを基に、全体に共通する部分だけでなく、学年ごとに特徴的な部分にも触れてお話ししていただきました。

各学年のインターネット1日の使用時間と全県の1日の使用時間の比較は以下の通りです。(%)

		4時間以上	2～4時間	1～2時間	1時間以下
1年	本校	25.8	35.5	19.4	19.4
	全県	12.2	36.0	36.7	15.1
2年	本校	42.3	32.7	19.2	5.8
	全県	12.9	36.0	36.6	14.5
3年	本校	26.1	34.8	26.1	13.0
	全県	13.6	33.0	34.5	18.9
全体	本校	34.0	34.0	20.8	11.3
	全県	12.9	35.0	36.0	16.2

各学年で使用時間が全県のデータより高くなっています。特に、2年生の使用時間が突出しています。自分の生活を見直し、放課後、休日をどのように充実させるか、考えてみましょう。

また、SNSに関するトラブルを起こさないよう、また巻き込まれないよう注意しましょう。

受講した生徒の感想です。

【1年B組 黒沢航汰さん】

自分にとっては普通のことでも、他の人にとってはいやなことが原因でトラブルに発展してしまうことが分かった。

自分は悪意なく話していても、悪い方向に話がそれて、人を傷つけてしまうことがあるので気を付けたいです。

【1年A組 佐藤想さん】

スマートフォンで伝える言葉だと、話して伝える言葉よりも相手に伝わりにくく、自分は大丈夫だと思って使う言葉も、相手の捉え方によっては大きく意味が変わったり、そこから人間関係が崩

れたりしていくということがわかりました。

【2年A組 西村美海さん】

スマホの使いすぎには気を付けたいと思いました。理由は、使いすぎてもあまりいいことはないし、友達との会話とかも少なくなってしまうからです。

あと、ネット上での投稿などにも相手の気持ちを考えてしたいと思いました。

【2年B組 佐々木結花さん】

2年生が一番スマホを使用する時間が多く、キケンなことを初めて知りました。「使うのは普通」と思っていたのですが、「SNSは怖い」というのがわかりました。多くのトラブルがあるので、SNSを使用するときは十分気を付け、スマホの使用時間を減らしたいと思います。

【3年B組 鈴木杏奈さん】

スマートフォンはインターネットが使える、ゲームができて、暇つぶしにはなるけど、スマートフォンばかり使っていたら、人との関係が崩れてしまうので気を付けたいです。SNSも、簡単に使えるものだけど、使い方を間違ってしまうと怖いものなので、正しく使いたいと思いました。

【3年A組 佐々木靖国さん】

インターネット上で気を付けなければならないこと、ネット依存者がどのようなものなのかを改めて知ることができました。また、自分も気がつかないうちに、ネットを使いすぎることもあるので、気を付けていきたいです。

主権者教育～明るい選挙啓発事業～

総務省主権者教育アドバイザー布佐明彦先生を講師に迎え、また山田町選挙管理委員会事務局の皆さんの協力を得て実施しました。

クイズを交えながら、選挙の仕組みや候補者の選び方を学び、その後実際の投票箱や計数機を使い、模擬投票を行いました。

18歳からの選挙権を行使し、よりよい社会の構築に参画する大切さ、棄権することの弊害を学びました。

以下、生徒の感想です。

- ◎ 投票について、本当に知識がなくて、実際に行ったときどうすればいいのかという疑問と不安があったけれど、模擬投票を体験することでこういう感じなのだと、少し安心することができました。投票をしっかりとるにも、立候補者のことをよく知ったりしなければならなかったと感じたので、新聞やテレビなどにしっかり耳を傾け、目をとおして、私自身参加していきたいと思いました。
- ◎ 選挙なんて、票を入れるだけだと思っていたけれど、全くそんなことはなくて、しっかり候補者について知ったり、その人の意図を知ったりして、投票のルールも理解した上で選挙に参加したいと思いました。

(交通安全教室については、次号に掲載予定です。)

